

戦争法案の衆議院強行採決にあたっての声明

史上最悪の法律・戦争法案を廃案に、史上最 最低の安倍内閣を退陣へ！平和といのちを 守る取り組みはこれから。すべての組合員 が心を寄せて奮闘しましょう

本日、午後2時過ぎ、衆議院本会議で戦争法案は、野党が退席する異常な中で、自民・公明などの賛成多数により強行された。

どんな世論調査でも、国民の5割以上が「憲法違反」と批判し、6割以上が「今国会での採決はやめるべきだ」と言い、8割以上が「政府の説明は十分ではない」と答えている。昨日の特別委員会でも安倍首相自身が「国民の理解が得られていないのは事実だ」と答弁した。これを認めていながら、なぜ採決ができるのか。議論の府である国会の役割を放棄したと言わざるをえない。

私たちは、平和といのち・暮らしを守る労働者として戦争法案に反対する。そして、昨日と今日、立憲主義を否定し、民主主義を蹂躪している安倍首相と自民党・公明党両党を糾弾する。

すべての組合員の皆さん。平和を願い、国民の、高齢者の、子どもたちの、いのちと暮らし・権利を守りつづけている皆さん、今、日本の歴史が大きく動こうとしています。この瞬間に、力を出し合い、未来の子どもたち、未来の日本のために奮闘しましょう。

2015年7月15日

福祉保育労働組合京都地方本部執行委員長
京都医療労働組合連合会執行委員長

前田 鉄雄
松本 隆浩



9条壊すな 戦争反対

ふたたび白衣を戦場の血で汚さない

京都医労連